

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成27年 6月17日

【会社名】 株式会社東京クラシック

【英訳名】 TOKYO CLASSIC CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 小島 拓之

【本店の所在の場所】 大阪市中央区伏見町四丁目 4番 9号オーエックス淀屋橋ビル9 F

【電話番号】 06-4963-3560

【事務連絡者氏名】 小島 拓之

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区伏見町四丁目 4番 9号オーエックス淀屋橋ビル9 F

【電話番号】 06-4963-3560

【事務連絡者氏名】 小島 拓之

【届出の対象とした募集有価証券の種類】 株式

【届出の対象とした募集金額】 一般募集 1,000,000,000円

【安定操作に関する事項】 該当事項はありません。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

1【新規発行株式】

種類	発行数	内容
普通株式	100株	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。なお、単元株式制度は採用しておらず、株式の譲渡制限を設けております。当該株式を譲渡により取得する場合、当社取締役会の承認を要します。

(注) 1 平成27年6月10日(水)開催の株主総会及び取締役会決議によります。

2 発行数については、申込状況により変動する可能性があります。

2【株式募集の方法及び条件】

(1)【募集の方法】

区分	発行数	発行価額の総額(円)	資本組入額の総額(円)
募集株式のうち株主割当	-	-	-
募集株式のうちその他の者に対する割当	-	-	-
募集株式のうち一般募集	100株	1,000,000,000	500,000,000
発起人の引受株式	-	-	-
計(総発行株式)	100株	1,000,000,000	500,000,000

(注) 一般募集については、そのすべてを当社が直接募集します。

(2)【募集の条件】

発行価格(円)	資本組入額(円)	申込株数単位	申込期間	申込証拠金(円)	払込期日
10,000,000	5,000,000	1株	平成27年7月3日(金)から平成28年4月28日(木)	10,000,000	申込日の翌月10日(但し、銀行休業日の場合は翌営業日)

(注) 1 申込みの方法は、申込期間内に株式申込書を後記申込取扱場所に提出するものとします。

2 最低申込株数は1株とします。

3 申込株式数が募集株式数に達しない場合には、割当株式数をもって発行株式数とします。

4 申込者は、割当先及び割当株式数の決定までに、当社独自の審査を経る必要があります。当該審査は、当面の間、株主1名の推薦、書類審査及び東京クラシッククラブの発起人(コミティメンバー)による面接を必要とします。

5 申込株式数が募集株式数を上回った場合には、当社が割当先及び割当株式数を決定します。その場合には、当社は割当を受けられなかった株数に応じ、申込証拠金を返還します。

6 申込証拠金は、払込期日に募集株式払込金に振替充当します。

7 申込証拠金には利息をつけません。

8 募集株式の割当を受けることは、後記「第二部 企業情報 第1 企業の概況 3 事業の内容 (2) 事業運営体制の予定」記載の東京クラシッククラブへの入会資格を保證するものではありません。なお、東京クラシッククラブへの入会は別途申込書を当社に提出し、東京クラシッククラブ独自の審査を経る必要があります。当該審査手続は、平成27年10月を目処にその時点の株主及び東京クラシッククラブの発起人(コミティメンバー)の意見を反映して定められる予定です。

(3) 【申込取扱場所】

店名	所在地
株式会社東京クラシック	大阪府中央区伏見町四丁目4番9号 オーエックス淀屋橋ビル9F

(4) 【払込取扱場所】

店名	所在地
株式会社三菱東京UFJ銀行 大阪営業部	大阪府大阪市北区堂島浜1丁目1番5号

3 【株式の引受け】

該当事項はありません。

4 【新規発行による手取金の使途】

(1) 【新規発行による手取金の額】

払込金額の総額(円)	発行諸費用の概算額(円)	差引手取概算額(円)
1,000,000,000	6,000,000	994,000,000

(注) 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 【手取金の使途】

上記差引手取概算額994,000,000円は、設備資金として、平成28年1月に全額を東京クラシッククラブを構成する土地及び賃借権並びに建物、施設及び附帯設備(以下「本件土地等」といいます。)を取得するための費用の一部に充てる予定です。本件土地等の取得に関する契約の概要は、後記「第二部 企業情報 第1 企業の概況 3 事業の内容 (3) 準備状況 本ゴルフ場の事業用地に関する準備状況」に記載しております。

第2 【売出要項】

該当事項はありません。

第3 【第三者割当の場合の特記事項】

該当事項はありません。

第4 【その他の記載事項】

新株発行目論見書の表紙に東京クラシックのロゴを下記のとおり掲載いたします。



TOKYO CLASSIC

第二部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっております。第1期の事業年度末が到来しておりませんので、該当事項はありません。

2 【沿革】

年月	事項
平成27年5月7日	全国にゴルフ場を保有するクラシックグループの中核会社である株式会社クラシックを100%親会社として、クラブ組織の企画、設立、運営及びゴルフ場、スポーツ施設、レストラン、宿泊施設、その他リゾート施設の所有・運営等を目的とした「株式会社東京クラシック」(資本金7,000千円)を設立
平成27年6月15日	株式会社クラシックに対する第三者割当増資として普通株式10株を発行
平成28年5月(予定)	東京クラシックゴルフコース(以下「本ゴルフ場」といいます。)開業予定

3 【事業の内容】

(1) 複合型アウトドア会員制クラブ

当社の主な事業は、東京クラシッククラブの会員(以下「クラブメンバー」といいます。)によるソサエティ(クラブ)としての東京クラシッククラブの運営であり、これを単一セグメントとしています。東京クラシッククラブのアクティビティとして、メインとなるのは本ゴルフ場ですが、以下の東京クラシック馬主クラブ、クラインガルテン及び教育の森プログラムといった併設施設を持つことで、クラブメンバーが家族で訪れて楽しむことができる環境を提供する予定です。クラブメンバーは審査も厳しく選ばれた方だけのソサエティにすることで、クラブメンバー同士の帰属意識、仲間意識を持てるような場を提供し、これまでにない真のカントリークラブを目指します。

東京クラシックゴルフコース

ゴルフコースは、姉妹コースの名門「北海道クラシックゴルフクラブ」をも手掛けた、帝王ジャック・ニクラス自らの設計による日本最後のコースとなる見込みです。世界トップレベルのドライビングレンジを持ち、世界最高レベルのメンテナンスが施された最高のチャンピオンコースとすることを目指しています。それだけでなく、クラブメンバーのライフステージに合わせたアクティビティの数々も提供する予定です。アスリートゴルファーからアベレージゴルファーまで平等に楽しめるゴルフライフを提供するだけでなく、親子3代にわたってクラブメンバーの家族全員が楽しめるクラブライフをも提供します。

東京クラシック馬主クラブ

クラブメンバーは乗馬のプログラムのみでなく、馬主会員として馬のお世話など、馬と過ごすクラブライフを満喫できるようになる予定です。馬に乗ってゴルフ場内を散策することもできるようにする予定です。

クラインガルテン

有機・無農薬の野菜作りなどができるクラインガルテンを提供する予定です。抗酸化物質を沢山含む有機野菜・無農薬野菜はアンチエイジングに効果があるだけでなく、親子で野菜作りに参加させることは大切な食育となります。また、クラインガルテンで採れた野菜は、クラブハウスのレストランにて調理することもできるようにする予定です。

教育の森プログラム

ゴルフコースの周りは豊かな森に囲まれています。都心のコンクリートジャングルの日常から離れて、クラブメンバーの家族全員に真のカントリークラブライフをお楽しみいただくために、この自然を生かした森の冒険、クライミング、木登り、ツリーハウス作り、アスレチック作り、昆虫ハンター、マウンテンバイク、親子陶芸教室、自然素材で作る工作、サマーキャンプなど季節に合わせたアクティビティをご用意する予定です。

その他併設施設・アクティビティ

上記のほか、チャイルドケア(月齢3か月～7歳)及びキッズルーム(7歳以上)の開設を予定しているほか、陶芸教室及びサマーキャンプの開設を検討しています。また、テニス及び宿泊施設の開設も検討しております。

(2) 事業運営体制の予定

東京クラシッククラブは、入会金(預託金ではなく当社は返還義務を負いません。)及び会費を支払うクラブメンバーにより構成されます。入会金については、平成27年10月を目処に、その時点における株主及び東京クラシッククラブの発起人(コミティメンバー)とも協議の上で最終的に決定しますが、当社としては3,500,000円にしたいと考えております。

東京クラシッククラブの運営は、当社から株式会社クラシックに対して委託されておりますが、東京クラシッククラブの会則及び細則を制定及び改定する際には株主及びコミティメンバーに諮問する予定です。株式会社クラシックは、全国にゴルフ場を保有するクラシックグループの中核として、全国のゴルフ場運営等に豊富なノウハウを有しております。

(3) 準備状況

本ゴルフ場の事業用地に関する準備状況

本届出書提出日現在、和泉産業株式会社が東京クラシッククラブの事業用地である本件土地等を保有し開発を行っています。

当社は、平成27年6月10日に和泉産業株式会社との間で本件土地等の売買予約契約を締結しており、平成28年1月に上記予約完結権の行使によって本件土地等を取得する予定です。当該売買予約契約における売買代金は3,980百万円に平成27年5月1日以降に発生した実費を加算した金額であり、売買代金の支払いは、募集株式発行による手取金並びに株式会社クラシックからの借入によって行う予定です。

なお、後記「第3 設備の状況 2 主要な設備の状況」に記載のとおり、本ゴルフ場の一部は本届出書提出日現在、借地部分を含んでおります。上記売買予約契約の対象には賃借権の譲渡を含むこととなりますが、地主との契約において、賃借権の譲渡先がゴルフ場経営を行う会社である場合には地主の承諾は不要であるとの規定が含まれております。

また、併設施設のための周辺土地の一部は、今後新たに賃借をして確保する予定です。

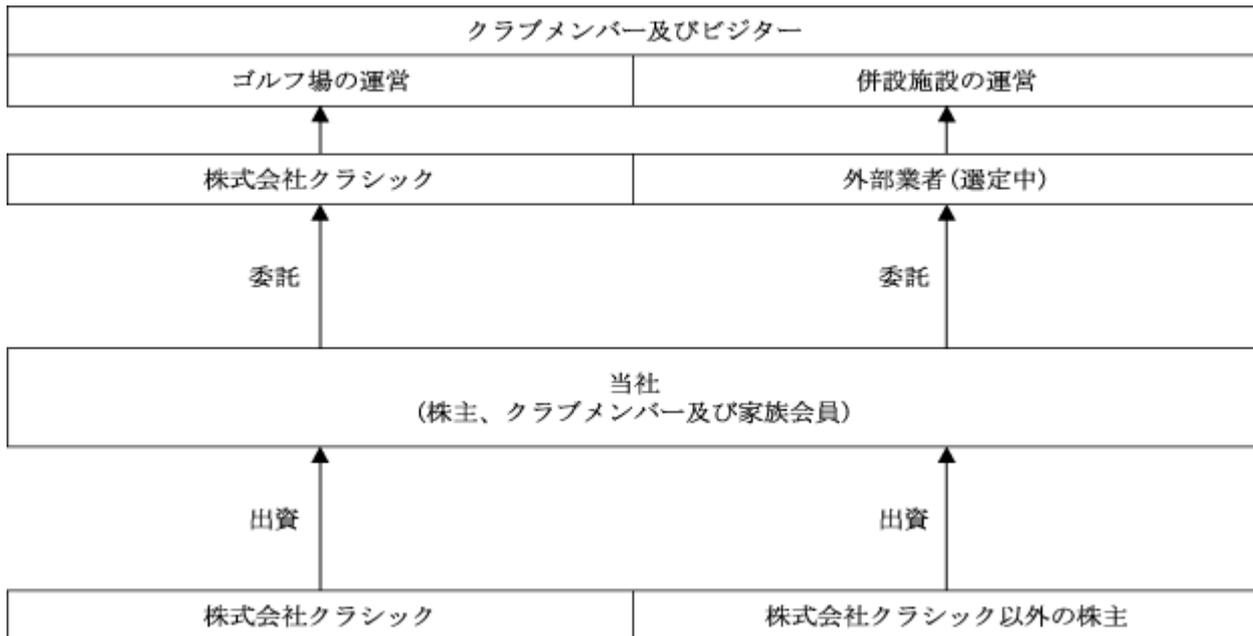
東京クラシッククラブ運営に関する業務委託契約

平成27年6月10日、当社は、株式会社クラシックと東京クラシッククラブの運営に関する業務委託契約を締結しました。業務委託契約に基づく業務委託の範囲は、本ゴルフ場における固定資産及び動産の維持・管理、レストラン・売店等の運営、経理業務、諸官庁への届出、地権者対応、営業及び集客に関する業務並びに本ゴルフ場及び東京クラシッククラブにおける会員管理業務及び多目的利用に関する業務等です。業務委託契約の対価は、株式会社クラシックが保有する本ゴルフ場に関する商標権の使用許諾を当社が受ける対価を含んでおり、後記「第2 事業の状況 5 経営上の重要な契約等」に記載しております。

併設施設運営に関する業務委託契約

本届出書提出日現在、業務委託先を選定中です。

[事業系統図]



4 【関係会社の状況】

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業 の内容	議決権の被所 有割合(%)	関係内容
(親会社) 株式会社G&Rホールディング	大阪府大東市	25.3	・投資業 ・投資及び融資に関するコンサルティング ・経営及び運営に関するコンサルティング	100 (100)	当社役員との兼任 1名
(親会社) 株式会社クラシック	大阪府大東市	10	・不動産インベスト業務、アセットマネジメント業務 ・ゴルフ場等リゾート施設及びそれに関連する諸施設の経営及び運営支援 ・不動産、会員権の販売及び仲介	100	当社役員との兼任 3名 東京クラシッククラブ運営に関する業務委託契約

- (注) 1 議決権の被所有割合の()内は、間接所有割合の内数であります。
- 2 株式会社クラシックは株式会社G&Rホールディングの100%子会社であります。
- 3 株式会社クラシックは関係会社長期借入金として平成26年12月31日時点において16,093,448,530円の固定負債を抱えているため債務超過の状況にあり、その債務超過の金額は同時点で2,832,991,940円です。なお、株式会社クラシックの経常利益は、平成24年度に255,781,056円、平成25年度に462,837,511円、平成26年度に1,059,993,837円となっており、また、関係会社長期借入金は、全額が株式会社クラシックの親会社である株式会社G&Rホールディングを債権者とするものであります(株式会社G&Rホールディングは債務超過の状況にありません。)

5 【従業員の状況】

平成27年6月15日現在

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(千円)
0(0)		0	

- (注) 1 従業員数は、当社における役員を除いた就業人員数であります。
- 2 当社は、平成27年5月7日設立のため、平均勤続年数は0年としております。
- 3 当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度末が到来していないため、平均年間給与は記載しておりません。
- 4 当社は、本ゴルフ場の運営を株式会社クラシックに委託しており、併設施設の運営も現在選定中の第三者に委託予定であるため、本ゴルフ場の開業後においても従業員数は0名となる予定です。

第2 【事業の状況】

1 【業績等の概要】

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっております。第1期の事業年度末が到来していないため、「業績等の概要」は記載しておりません。

2 【生産、受注及び販売の状況】

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっております。第1期の事業年度末が到来していないため、「生産、受注及び販売の状況」は記載しておりません。

3 【対処すべき課題】

(1) 当社のコンセプトの追求

当社は、「豊かな文化のあるべき姿を復興し、次世代へ志をつなぎ、国際社会に貢献できる人材を育成するためのクラブを創設します。」を「OUR VISION」とし、最高のゴルフライフを提供するだけではなく、老若男女が自然に触れ合い、動物に触れあう併設施設を持つことで、クラブメンバーが文化を感じ、育み、それを次世代へ引き継ぐことのできる環境を提供します。そして、それを通じて、クラブメンバーが帰属意識を持つことのできるソサエティを創り運営していくことをコンセプトとしております。そのため、プレーのみを提供する通常のゴルフ場とは本質的にコンセプトが異なっております。

当社では、上記のコンセプトを追求するため、入会審査を必要とする厳選したクラブメンバー募集活動を行います。また、併設施設の運営業者も厳選し、複合型アウトドア会員制クラブとしての魅力を高めるための最大限の努力を行ってまいります。さらに、クラブメンバーにソサエティに対する帰属意識を持ってもらえるよう、様々なイベントも行っていく予定です。

(2) クラシックグループとしての強みを活かす

クラブメンバーへの上質なサービスの追求

当社の親会社である株式会社クラシック、その子会社13社(孫会社2社を含む。)並びに株式会社クラシックの親会社であり持株会社である株式会社G&Rホールディングからなるクラシックグループは、日本全国にゴルフコース及びホテルなどを保有しており、運営や会員に対するサービスのノウハウが蓄積されております。当社はこのグループの強みを本ゴルフ場の運営においても活かして参ります。グループでの会員情報管理ノウハウを生かし、クラブメンバーの皆様一人一人の情報管理を行い、各クラブメンバーの皆様のニーズに合ったサービスを提供します。また、各種イベントを実施し、クラブメンバーの皆様が交流を深めていただける環境を提供します。

ブランド力

クラシックグループは、平成28年に日本プロゴルフ選手権大会が開催されるゴルフコースである北海道クラシックゴルフクラブを保有するなど、卓越したブランド力を有しております。当社もクラシックグループの一員として、このブランド力を活かして参ります。

当社は北海道クラシックゴルフクラブとブランドコンセプトをリンクさせることにより北海道クラシックの知名度を生かし、東京クラシックのブランドへの理解・浸透を早めます。

また、ゴルフにおけるブランド力は、一番はコース状況(設計、メンテナンス)です。設計は姉妹コースの名門「北海道クラシックゴルフクラブ」を手掛けた、帝王ジャック・ニクラス的设计であり、「私が日本で手掛けた24コースの中で最高のゴルフコースになるに違いない」とジャック自身が語っています。コースメンテナンスは、現役の日本人で唯一の米国ゴルフコース管理者協会(GCSAA)認定資格保有者が率いるクラシックメンテナンスチームにより世界最高レベルの管理を提供することを目指します。

グループネットワークを活かしたコスト構造の強化

クラシックグループは、日本全国にゴルフ場を保有する国内有数のゴルフ場オペレーション会社として、スケールメリットを活かしたローコスト化を推進しており、ゴルフ場における受電・人事・経理業務を集約することによる業務の合理化及びコース機器や材料・消耗品・シヨップ商品・食材等の集中購買を行っております。

(3) 安定的財務体質の構築

優良顧客の獲得による稼働率の確保

当社は、クラブメンバー及びその周辺の方々を中心とした厳選された方々をゴルフ場に誘客するだけでなく、複合型アウトドア会員制クラブとして認知いただくことで、会員稼働率の向上を実現し、クラブメンバーにとってお客様である同伴ビジター、紹介ビジターの確保を実現し、収益基盤の安定を図って参ります。

新規クラブメンバー募集の促進

当社はクラブメンバーを600名まで募集することを予定しており(配偶者会員は除きます。)、厳選しながらも新規クラブメンバーの募集活動を早期に推し進め、安定した年会費収入の確保に努めて参ります。

効率的な業務運営による経費圧縮

人員の効率的な配置並びに適正な経費配分及び経費水準を保持し、経費コントロールにより安定した収益構造を構築して参ります。

データベースの活用

最新のITシステムを導入し、顧客情報をデータベース化し、日々のマーケティングに活用することで、顧客(クラブメンバー)満足度の向上及び客単価の向上並びに新規クラブメンバーの獲得を図って参ります。なお、個人情報の取扱いには万全の注意を払っております。

4 【事業等のリスク】

(1) クラブメンバー募集のリスク

当社は、真のカントリークラブを作り、クラブメンバーのソサエティそのものに価値を持たせることを特徴として、クラブメンバーによる、クラブメンバーのためのクラブを目指し、厳選したクラブメンバー募集を行っていく所存です。当社の主な収入源は、クラブメンバーが支払う入会金及び月会費並びに本ゴルフ場のプレーヤーが支払う費用です。

しかし、今後クラブメンバーの数が予定どおり増加しなかった場合や、増加してもなんらかの事象により退会者が増えた場合、月会費の支払を滞らせるクラブメンバーが増えた場合等には、収益基盤が安定せず、当社の財政状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。

(2) 想定どおりの契約締結ができないリスク及び締結した契約の履行を受けられないリスク

本件土地等の譲受け

当社は、和泉産業株式会社から本件土地等を譲り受ける予定であり、その売買代金は3,980百万円に平成27年5月1日以降に発生した実費を加算した金額とされています。本ゴルフ場の造成に関しては当初の予定より造成費用が増加しており、今後の実費の増加額を正確に予測することはできません。実費の増加額が大きい場合、当社の財政状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。

また、当社による売買代金の支払には、募集株式発行の手取金のほか、株式会社クラシックからの借入による資金調達が必要となります。もっとも、本届出書提出日現在、貸付けは未実行であり、必要な資金が得られる保証はありません。必要な資金を調達できない場合、当社が本件土地等を取得できない可能性があります。

周辺土地の開発及び業務委託契約

当社は、本ゴルフ場の周辺土地において、東京クラシック馬主クラブ、クラインガルテン、教育の森プログラム等のアクティビティを行える施設、チャイルドケア、キッズルーム等を開発し、第三者に業務委託(委託先は選定中)をする予定ですが、当該施設の開発や業務委託契約の締結は未了です。また、その他の併設施設は計画段階となっています。当社の希望する条件及び内容による当該施設の開発や業務委託契約の締結ができない場合、当社の真のカントリークラブを作るというコンセプトが実現できず、当社の想定するクラブメンバーの増加が達成できないことにより、当社の財政状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。

本ゴルフ場の一部土地の賃貸借契約

本ゴルフ場の一部(公簿面積847,933.28㎡のうち約75%)は土地の賃借権契約に基づき使用する予定です。和泉産業株式会社と地主の間では既に賃貸借契約が締結されており、当社は和泉産業株式会社から当該賃借権を譲り受ける予定です。また、本届出書提出日現在、賃借権の登記に関しては仮登記までしかなされておらず、万一本登記への変更ができなかった場合には、賃借人は土地の譲受人に対して賃借権を対抗できなくなる可能性があります。

(3) 土地の賃借権喪失及び賃借権の対象土地購入に関するリスク

本ゴルフ場の一部は土地の賃借権に基づき使用する予定です。当社は賃借権の保全に必要な対応を行う予定ですが、賃貸借契約が解除若しくは解約され、又はこれに関する重大な紛争が発生した場合には、本ゴルフ場用地の利用に支障が生じ、事業の継続に重要な悪影響を及ぼす可能性があります。

また、地主との賃貸借契約には、地主が対象の土地の売却を希望する場合における当社の先買権が付されており、仮に当社が当該買取条項を行使した場合、当社は事業用不動産を自己所有とすることができますが、他方で買取に必要な資金(最大約3,900百万円)が流出し、当社の財政状況に影響を与える可能性があります。

(4) 開発用周辺土地を確保できないリスク

当社は、富裕層の集まるクラブ組織を作ることにより、クラブ組織そのものに価値を持たせるため、本ゴルフ場の周辺に東京クラシック馬主クラブ、クラインガルテン、教育の森プログラム、チャイルドケア、キッズルーム等を併設する予定です。本届出書提出時点では、これら施設の開発用地は本ゴルフ場の敷地の一部及び本ゴルフ場の周辺土地を利用することを想定しておりますが、当該周辺土地の取得は未了です。併設施設の完成が困難又は遅れることとなった場合には、当社の真のカントリークラブを作るというコンセプトが実現できず、当社の想定するクラブメンバーの増加が達成できないことにより、当社の財政状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。

(5) 有利子負債への依存及び資金調達に関するリスク

当社は、本件土地等の譲受け資金、周辺土地の開発資金及び運転資金を、募集株式の払込金以外では、株式会社クラシックからの借入金により調達する予定であり、総資産に占める有利子負債の割合は、平成28年4月において82%となる見込みです。今後は、資金調達手段の多様化に取り組むとともに、自己資本の充実に注力する方針がありますが、金融情勢の変化等により金利水準が変動した場合や当社の信用力の低下等により資金調達に制約を受けた場合には、当社の業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

また、有利子負債に占める株式会社クラシックからの借入の割合は平成28年4月において100%となる見込みです。同社との関係は良好ですが、当社に対する経営方針に変更があった場合その他の要因により同社からの借入れにつき条件の変更等がなされた場合には、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

(6) 当社に対する社会的評価が低下するリスク

当社のコンセプトは、最高のゴルフコースでのゴルフライフを提供するだけでなく、富裕層のクラブメンバー同士の交流の場と、併設施設の利用も可能な上質なクラブライフを提供するところにあります。他方で不祥事の発生（運営会社の信用不安、中心となるクラブメンバーが反社会勢力であるという風評等）その他の理由によりクラブのイメージに対する社会的評価が低下した場合には、当社のコンセプト維持が困難となり、業績に影響を与える可能性があります。

(7) 第三者への業務委託のリスク

当社は、前記「第1 企業の概況 3 事業の内容 (3) 準備状況 東京クラシッククラブ運営に関する業務委託契約」に記載のとおり、当社の親会社である株式会社クラシックに対し、東京クラシッククラブ及び本ゴルフ場の運営を委託しています。また、本ゴルフ場に係る商標についても株式会社クラシックから使用許諾を受けております。そのため、本ゴルフ場の運営は株式会社クラシックに依存することになり、同社の当社に対する経営方針に変更があった場合、その他様々な要因により提携関係を維持できなくなった場合には、当社の業績に重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

また、当社は本ゴルフ場の併設施設である東京クラシック馬主クラブ、クラインガルテン、教育の森プログラム、チャイルドケア、キッズルーム等の運営業務も第三者(選定中)に委託予定ですので、当該第三者と提携関係を維持できなくなった場合にも、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

(8) 景気感応度のリスク

ゴルフ場事業は典型的なレジャー産業ですので、一般的に景気動向の影響を受けやすいといえます。したがって、景気低迷は来場者数の減少となり、売上高を減少させるリスクとなります。また、景気低迷による入場者数の減少は、ゴルフ場事業の価格競争を加速させ、収益の減少を加速させる可能性があります。

(9) ゴルフプレー人口の減少のリスク

日本全体での人口減少、レジャーの多様化等の影響によってゴルフプレー人口が減少し、結果的に来場者数の減少に繋がることで当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

(10) 季節変動性のリスク

ゴルフ場事業は季節変動性があり、来場者数は季節に応じて振幅が大きく、一般的に春・秋は来場者数が多く、夏・冬に落ち込む傾向があります。したがって、人員配置等の効率性の追求が難しく、また固定費割合が大きいゴルフ場にとって季節間の大きな繁閑差は、当社の業績及び財政状況に影響を与える可能性があります。

(11) 天候のリスク

ゴルフ場事業は典型的な「お天気産業」ですので、大熱波・大寒波、降雨、降雪、台風等の天候要因によって来場者数が増減するリスクがあります。また、台風による影響は営業面のリスクに止まらず、施設・コースの損壊被害の懸念もあり、予想外の修繕費が発生するリスクがあります。

(12) 自然災害・戦争・テロ・暴動・感染症等のリスク

東日本大震災等の大規模な災害が発生した場合には、ゴルフプレーに対する意識の冷え込み等が予想され、一時的な来場者数の減少により当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。大規模な災害の中でも、地震、津波、山火事等による影響は営業面のリスクに止まらず、施設・コースの損壊被害の懸念もあり、予想外の修繕費が発生するリスクがあります。また、国内外において戦争、テロ事件、暴動事件等が発生した場合や、エボラ出血熱、新型インフルエンザ等の治療方法が確立されていない感染症が世界的大流行(パンデミック)が発生するなどした場合も、同様の状況が想定されることから、一時的な来場者数の減少により当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

(13) 労働集約的産業のリスク

ゴルフ場事業は、人員を多く配置した労働集約的産業であり、固定費負担が重く、一般的に損益分岐点が高い産業といえます。すなわち、ゴルフ場事業は変動比率が低いため、損益分岐点を超えて売上が増加した場合には、超過利益を大きく享受する一方、売上が減少したり、損益分岐点に到達できなかったりする場合には、固定費負担から赤字体質に陥るリスクがあります。

(14) キャディを確保できないリスク

ゴルフ場事業全般として、キャディの人手不足は深刻化しており、キャディの雇用をしない営業をするゴルフ場も増えております。当社は給与、待遇等において他社と差別化することによりキャディを確保する予定ですが、予定どおりにキャディを確保できずに業務に支障が生じる可能性があります。

(15) 特定の役職員への依存のリスク

当社は、本届出書提出日現在において、役員4名という組織構成です。人的資源に限りがある中、特に代表取締役である小島拓之を中心とした特定の役職員の働きに依存している面もあり、役職員に業務遂行上の支障が生じた場合や、重要な役職に就いている役職員が退職等によって社外流出した場合には、業務に支障が生じる可能性があります。

(16) 金融市場の動向のリスク

当社は、有利子負債によつての資金調達を行う予定ですが、金融市場の動向が、資金調達や支払金利に影響を与え、これらを通じて当社の業績及び財政状況に影響を及ぼす可能性があります。

(17) 個人情報管理のリスク

当社は、クラブメンバー等の利用者の個人情報を保有しており、その外部漏洩に関しては細心の注意を払い、業務委託先の情報管理についても業務委託契約書中に守秘義務条項を定めておりますが、万一個人情報が漏洩した場合には、当社の信用失墜や損害賠償金の支払負担により、業績に影響を及ぼす可能性があります。

5 【経営上の重要な契約等】

契約会社名	相手方の名称	契約内容	契約期間
当社	株式会社クラシック	本ゴルフ場用地の売買予約(注)1、2	-
当社	株式会社クラシック	本ゴルフ場運営の業務委託(注)3	平成27年6月10日から平成28年4月30日、以降1年間ごとに自動更新

(注)1 詳細につきましては、前記「第1 企業の概況 3 事業の内容 (3) 準備状況 本ゴルフ場の事業用地に関する準備状況」に記載のとおりであります。

2 和泉産業株式会社が千葉県千葉市若葉区和泉町に土地を保有するの地主約60名との間で締結している本ゴルフ場用地の賃貸借契約に基づく賃借人たる地位の譲渡を含みます。当該賃貸借契約は、賃借人の申出により同一条件で更新が可能です。

3 業務委託の範囲は、本ゴルフ場における固定資産及び動産の維持・管理、レストラン・売店等の運営、経理業務、諸官庁への届出、地権者対応、営業及び集客に関する業務並びに本ゴルフ場及び東京クラシッククラブにおける会員管理業務及び多目的利用に関する業務等です。また、株式会社クラシックが保有する本ゴルフ場に係る商標権の使用許諾も定められています。なお、業務委託及び商標権の使用許諾の対価として当社は株式会社クラシックに対し、実費及び損益計算書上の営業利益(但し、入会金収入を除きます。)に減価償却費を加算したものの30%を上限とした金額並びに東京クラシッククラブの入会金収入の40%を支払います。

6 【研究開発活動】

該当事項はありません。

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなり、第1期の事業年度末が到来していないため、「財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」は記載しておりません。

第3 【設備の状況】

1 【設備投資等の概要】

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっております。第1期の事業年度末が到来していないため、「設備投資等の概要」は記載しておりません。

2 【主要な設備の状況】

当社は単一のセグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっております。第1期の事業年度末が到来していないため、該当項目はありません。ただし、平成28年5月時点(開業予定時期)での見込みは以下のとおりです。

事業所名 (所在地)	設備の内容	帳簿価格(単位：千円)						従業員数 (名) (注)4
		土地 (注)1	建物	構築物 (注)2	コース施設	その他 (注)3	合計	
東京クラシック (千葉県千葉市若 葉区和泉町)	ゴルフコース 及び施設	430,000	880,000	1,380,000	1,906,000	4,000	4,600,000	0
	併設施設	0	100,000	90,000	0	10,000	200,000	0

(注)1 土地には賃借権を有する部分を含みません。

2 構築物には、雨水排水設備、汚水施設、管理カート道路、進入路駐車場、給散水設備、電気設備及び空調設備等が含まれます。

3 その他には、練習場人工芝及び東京クラシック馬主クラブ・クラインガルテンの工具器具備品等が含まれます。

4 当社は、本ゴルフ場の運営を株式会社クラシックに委託しております。また併設施設の運営も、現在選定中の第三者に委託予定です。

土地の所在地	面積
千葉市若葉区和泉町	847,933.28㎡(地積合計(注)1) (うち借地割合約75%(注)2)

(注)1 847,933.28㎡は、本ゴルフ場の開発面積です。併設施設のために予定している土地面積を併せると、合計882,933.28㎡となります。

2 借地部分は複数の土地所有者から賃借しており、賃貸人は約60名です。

3 【設備の新設、除却等の計画】

該当事項はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,000
計	3,000

【発行済株式】

種類	発行数(株)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	710	非上場・非登録	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。なお、単元株式制度は採用しておらず、株式の譲渡制限を設けております。当該株式を譲渡により取得する場合、当社取締役会の承認を要します。
計	710		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年5月7日 (注)1	700	700	7,000	7,000	0	0
平成27年6月15日 (注)2	10	710	50,000	57,000	50,000	50,000

(注) 1 発行済株式数の増加は設立によるものであります。

2 第三者割当増資によるものであります。

発行価格 10百万円 資本組入額 5百万円

割当先 株式会社クラシック

(5) 【所有者別状況】

平成27年6月15日現在

区分	株式の状況							単元未満株式の状況(株)	
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人等		個人その他		計
					個人以外	個人			
株主数(人)	-	-	-	1	-	-	-	1	-
所有株式数(単元)	-	-	-	710	-	-	-	710	-
所有株式数の割合(%)	-	-	-	100	-	-	-	100.0	-

(6) 【大株主の状況】

平成27年6月15日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社クラシック	大阪府大東市	710	100.0

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年6月15日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式710	710	
単元未満株式			
発行済株式総数	710		
総株主の議決権		710	

【自己株式等】

該当事項はありません。

(8) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

(9) 【従業員株式所有制度の内容】

該当事項はありません。

2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】

該当事項はありません。

(1) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(2) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(3) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

該当事項はありません。

(4) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

該当事項はありません。

3 【配当政策】

当社の配当政策における基本的な考え方は、株主の皆様に対して、より快適なゴルフのプレー環境及び複合型アウトドア会員制クラブのクラブメンバーとしての充実したクラブライフを提供することで利益の還元をし、結果的にクラブ及び株式の価値を高めるというものです。したがって、剰余金は借入金の弁済、ゴルフ場及び併設施設の整備、改良等に使用いたします。将来的には、経営成績及び財政状態を勘案しながら株主への利益還元を検討していく予定ではありますが、配当実施の可能性及びその実施時期等については現時点において未定であります。

4 【株価の推移】

当社株式は非上場・非登録ですので、該当事項はありません。

5 【役員の状況】

男性3名 女性1名 (役員のうち女性の比率25%)

役名	職名	氏名 (生年月日)	略歴		任期	所有株式数 (株)
代表取締役	社長	小島 拓之 (昭和50年2月24日)	平成13年11月 平成18年9月 平成20年11月 平成21年4月 平成27年5月	PwCコンサルティング株式会社(後にIBMビジネスコンサルティングサービス株式会社に社名変更)入社 株式会社クラシック入社 株式会社クラシック及び同社のグループ会社11社の代表取締役就任(現任) 株式会社G&Rホールディング代表取締役就任(現任) 当社代表取締役社長就任(現任)	(注)1	0
取締役	開発担当	小田 基央 (昭和47年5月6日)	平成7年4月 平成13年1月 平成22年2月 平成27年3月 平成27年5月	株式会社アスクプランニングセンター入社 株式会社アーバンコーポレーション入社 株式会社RE WORKS設立及び代表取締役就任(現任) 株式会社クラシック取締役就任(現任) 当社取締役兼開発担当就任(現任)	(注)1	0
取締役	管理担当	石倉 早竹葉 (昭和50年5月26日)	平成11年4月 平成21年4月 平成27年5月	税理士法人多田会計事務所入所 株式会社クラシック入社 当社取締役兼管理担当就任(現任)	(注)1	0
監査役	-	枝元 晃 (昭和39年1月19日)	平成元年4月 平成18年5月 平成27年5月	株式会社松村組入社 株式会社クラシック入社 当社監査役就任(現任)	(注)2	0
計						0

(注) 1 平成27年5月7日(当社設立日)から、10年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までであります。

2 平成27年5月7日(当社設立日)から、10年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までであります。

6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1) 【コーポレート・ガバナンスの状況】

（コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方）

当社は、株主、全てのクラブメンバー及びビジターその他のステークホルダーからの信頼を確保し、企業価値を継続的に向上させていくために、経営内容を開示し、コーポレート・ガバナンスを充実させることが経営の重要な課題であると認識しております。そして、適正な経営の意思決定を図り、効率的かつ健全な業務執行体制を構築し、経営チェック機能の充実に努めております。

会社の機関の内容

当社の取締役会は、本届出書提出日現在取締役3名で構成され、法令、定款に定めるところにより会社の経営方針及び業務執行上の重要事項を決議し、取締役の業務執行を監督しております。

さらに、当社は監査役を設置しており、監査役1名は取締役会その他会議に出席し、必要に応じて意見を述べるほか、経営方針の決定過程及び業務執行を監視しております。

内部統制システムの整備状況

当社は、上記各機関がそれぞれの機能を発揮することにより内部統制の充実を図っています。コーポレートガバナンスの基礎となる法令遵守につきましては、適宜弁護士に相談し指導を受けております。

また、会計取引の認識・測定・記録及び報告の正確性、資産・負債の保全・管理等業務の執行状況については、取締役が当社の取締役会で報告して内部統制システムが適正に機能する体制を確保しております。

さらに、会計監査人とは、情報交換、意見交換を行うなど監査の実効性と効率性の向上を目指しております。

加えて、クラブメンバーの意見をより反映させた民主的なクラブ運営を行うために、クラブメンバーで構成される理事会ほか各種運営委員会の設置も予定しております。

リスク管理体制について

当社は、業務に係るすべてのリスクについて適切に管理する体制の整備に取り組んでおります。リスクの共通認識を図るため当社の取締役会が中心となり、現在及び将来のリスクの分析を行い、課題を明確にし、今後の対策については検討を行っております。

役員報酬

当社は、新設会社のため、取締役及び監査役の報酬は未定です。なお、当社取締役及び監査役の報酬額等の詳細は定款に定めがなく、報酬額等は株主総会の決議により定めます。

取締役及び監査役の員数

当社の取締役は3名以上、監査役は1名以上とする旨を定款に定めております。

取締役の選任の決議要件

取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の過半数を有する株主が株主総会に出席し、出席した当該株主の議決権の過半数をもって行います。また、取締役の選任決議は累積投票によらないものとする旨を定款で定めております。

反社会的勢力排除のための体制

当社は、コンプライアンス経営の徹底及び企業防衛の観点から、反社会的勢力とは関わりを持たず、不当な要求に対しては毅然とした態度で対応し、排除することが企業としての社会的責任であることを認識します。反社会的勢力による不当請求があった場合には、個人的対応は行わず、民事及び刑事の法的対応を含め、外部専門家や行政機関、捜査機関とも緊密な連携を図り、組織的に対応します。また、平素から反社会的勢力に関する情報収集と集約に努めます。

(2) 【監査報酬の内容等】

【監査公認会計士等に対する報酬の内容】

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっており、第1期の事業年度末が到来していないため、記載すべき事項はありません。

なお、今後の金融商品取引法に基づく監査については、当社と監査法人アイリスとの間で監査契約を締結しております。

【その他重要な報酬の内容】

該当事項はありません。

【監査公認会計士等の提出会社に対する非監査業務の内容】

該当事項はありません。

【監査報酬の決定方針】

該当事項はありません。

第5 【経理の状況】

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっており、第1期の事業年度末が到来していないため、財務諸表を作成するに至らず公認会計士の監査報告もありません。

なお、金融商品取引法の規定に基づき、第1期事業年度の財務諸表については、監査法人アイリスの監査を受ける予定です。

第6 【提出会社の株式事務の概要】

当社の株式事務の概要は以下のとおりとなる予定です。

事業年度	5月1日から4月30日まで
定時株主総会	7月中
基準日	4月30日
株券の種類	1株券、10株券、100株券
剰余金の配当の基準日	4月30日
1単元の株式数	-
株式の名義書換え	
取扱場所	大阪市中央区伏見町四丁目4番9号オーエックス淀屋橋ビル9F 株式会社東京クラシック
株主名簿管理人	-
取次所	-
名義書換手数料	当社所定の金額
新券交付手数料	当社所定の金額
単元未満株式の買取り	
取扱場所	-
株主名簿管理人	-
取次所	-
買取手数料	-
公告掲載方法	官報
株主に対する特典	該当事項はありません。

- (注) 1 当社は単元株制度を採用しておりません。
2 当社の株式を譲渡するには、取締役会の承認を要します。

第7 【提出会社の参考情報】

1 【提出会社の親会社等の情報】

当社は上場会社ではありませんので、金融商品取引法第24条の7第1項の適用がありません。

2 【その他の参考情報】

該当事項はありません。

第三部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

第四部 【特別情報】

第1 【最近の財務諸表】

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっており、第1期の事業年度末が到来していませんので財務諸表を作成するに至っていません。

第2 【保証会社及び連動子会社の最近の財務諸表又は財務書類】

該当事項はありません。

監査報告書

当社は、平成27年5月7日に設立され、第1期の事業年度は平成27年5月7日から平成28年4月30日までとなっており、第1期の事業年度末が到来していないため、当社の監査報告書は作成されていません。